

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 3 月 31 日 (2011.3.31)

【公開番号】特開 2009-194747 (P2009-194747A)

【公開日】平成 21 年 8 月 27 日 (2009.8.27)

【年通号数】公開・登録公報 2009-034

【出願番号】特願 2008-35083 (P2008-35083)

【国際特許分類】

H 0 4 W 8/26 (2009.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 1 6 1

H 0 4 Q 7/00 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 2 月 15 日 (2011.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信装置であって、

ネットワークの識別子を設定する設定手段と、

前記設定された識別子に対応するネットワークに参加し通信する通信手段と、

現在参加している第 1 のネットワークとは異なる第 2 のネットワークに参加する場合、  
該第 2 のネットワークの識別子として、前記第 1 のネットワークの識別子と関連する識別子を前記設定手段により設定するよう制御する制御手段と、  
を備えることを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記第 1 のネットワークの識別子を構成する文字列が前記第 2 のネットワークの識別子に含まれるよう制御することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記第 2 のネットワークの識別子として、前記第 1 のネットワークの識別子を構成する前記文字列に拡張文字列を付加した識別子を前記設定手段により設定するよう制御することを特徴とする請求項 2 に記載の通信装置。

【請求項 4】

前記拡張文字列は、前記第 1 のネットワークからの分岐階層を示す文字列を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記拡張文字列は、同じ分岐階層に存在する他のネットワークと区別するための識別文字列を含むことを特徴とする請求項 4 に記載の通信装置。

【請求項 6】

前記拡張文字列は、前記第 2 のネットワークで利用されるアプリケーションを識別可能な所定の文字列を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記所定の文字列は、前記アプリケーションで用いられるプロトコルを示す文字列を含むことを特徴とする請求項 6 に記載の通信装置。

**【請求項 8】**

前記拡張文字列は、前記第 2 のネットワークへの参加を指示したユーザを識別可能な文字列を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の通信装置。

**【請求項 9】**

前記拡張文字列は、前記第 1 のネットワークの識別子を構成する前記文字列と前記拡張文字列との区切りを識別可能とするためのデリミタを先頭を含むことを特徴とする請求項 3 乃至 8 の何れか一項に記載の通信装置。

**【請求項 10】**

周辺に存在するネットワークを探索し前記第 1 のネットワークと関連するネットワークを検出する検出手段を更に備え、

前記制御手段は、更に、前記検出手段により検出されたネットワークの識別子と前記第 2 のネットワークの識別子とが互いに異なるように前記第 2 のネットワークの識別子を決定する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 9 の何れか一項に記載の通信装置。

**【請求項 11】**

前記制御手段は、更に、前記第 2 のネットワークを新規ネットワークとして構築するよう前記通信手段を制御することを特徴とする請求項 1 乃至 10 何れか一項に記載の通信装置。

**【請求項 12】**

前記制御手段は、更に、ステーションとして、前記第 2 のネットワークに参加するよう前記通信手段を制御することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

**【請求項 13】**

周辺に存在するネットワークを探索し前記第 1 のネットワークと関連するネットワークを検出する検出手段と

前記検出手段により検出された 1 以上のネットワークの識別子を一覧表示する表示手段と、

前記表示手段により一覧表示された前記 1 以上のネットワークの識別子の中からの 1 つの識別子の選択指定をユーザから受け付ける受付手段と、

を更に備え、

前記制御手段は、前記第 2 のネットワークの識別子として、前記受付手段により受け付けた前記 1 つの識別子を前記設定手段により設定するよう制御する

ことを特徴とする請求項 12 に記載の通信装置。

**【請求項 14】**

ネットワークの識別子を設定する設定手段と、前記設定された識別子に対応するネットワークに参加し通信する通信手段と、を備える通信装置の制御方法であって、

現在参加している第 1 のネットワークとは異なる第 2 のネットワークに参加する場合、該第 2 のネットワークの識別子として、前記第 1 のネットワークの識別子と関連する識別子を前記設定手段により設定するよう制御する制御工程を含むことを特徴とする通信装置の制御方法。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**発明の名称

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【発明の名称】**通信装置およびその制御方法

**【手続補正 3】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0007

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

## 【 0 0 0 7 】

上述の問題点を解決するために本発明の通信装置は以下の構成を備える。すなわち、通信装置において、ネットワークの識別子を設定する設定手段と、前記設定された識別子に対応するネットワークに参加し通信する通信手段と、現在参加している第１のネットワークとは異なる第２のネットワークに参加する場合、該第２のネットワークの識別子として、前記第１のネットワークの識別子と関連する識別子を前記設定手段により設定するよう制御する制御手段と、を備える。

## 【 手続補正 ４ 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 8

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

## 【 手続補正 ５ 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 9

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

## 【 0 0 0 9 】

上述の問題点を解決するために本発明の通信装置の制御方法は以下の構成を備える。すなわち、ネットワークの識別子を設定する設定手段と、前記設定された識別子に対応するネットワークに参加し通信する通信手段と、を備える通信装置の制御方法において、現在参加している第１のネットワークとは異なる第２のネットワークに参加する場合、該第２のネットワークの識別子として、前記第１のネットワークの識別子と関連する識別子を前記設定手段により設定するよう制御する制御工程を含む。

## 【 手続補正 ６ 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 0

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】